

館 内 清 掃 業 務 仕 様 書

1 作業内容

ロビー、ホール、来館者用トイレ等のパブリックスペースの清掃は、午前 9 時 30 分までに終了すること。

また、作業実施に当たり、塵芥を飛散させないように注意すること。

(1) 日常清掃

館内清掃実施日程表に示す委託者の勤務日（以下「開館日」という。）に館内清掃業務仕様書、清掃区分表及びガラス清掃区分表に基づいて作業を実施すること。

展示替期間中及び休館中の作業は、1 日 1 回 2 時間（朝のみ）の実施とする。

また、作業員は 2 名以上配置すること。

ア 床は、箒及びモップで埃を取り除き、汚れが著しいときは、水拭き又は中性洗剤で拭き取ること。

また、ビニールタイルは、電気掃除機又はモップ等を使用し、絨毯は真空掃除機で埃を取り除くこと。フローリング等の床は、固く絞ったモップ又は中性洗剤を含ませた後、絞ったモップで汚れを拭き取ること。

イ ゴミ箱等のゴミは、帯広市の分別方法に従い分別後、飛散しないようにそれぞれ袋等にまとめ、所定の場所に捨てること。

ウ 玄関及び階段は、特に汚れに注意し必要な清掃を実施すること。

また、正面玄関入口通路の簡易な積雪にあつては、これを除雪すること。

エ 玄関マットは、常に泥を取り除き、冬季間は雪が詰まったり凍結しないよう十分注意すること。

オ 茶殻、その他廃棄物は、飛散しないように袋等にまとめ、所定の場所に捨て、容器を水洗いをして所定の場所に置くこと。

カ 便所の汚物入れは、汚物が飛散しないように袋等にまとめ所定の場所に捨てること。また、容器は水洗いし消毒の上、所定の場所に置くこと。

キ 便器及び手洗器は、丁寧に水洗いした上で薬品等で洗浄するなど衛生処理を行うこと。

ク トイレトペーパー及び液体石鹸を適宜補給すること。

ケ 窓台・ロッカー、壁面、窓枠、柱は、ハタキ掛けし、必要に応じてから拭き、水拭きをすること。

コ 屋上については、適宜清掃をすること。また、排水ドレン周りは落ち葉等でつまらないよう清掃すること。

サ 窓ガラス・ガラス面・陳列ケースはから拭きを行う。ただし、汚れが著しいときは、水拭きあるいは洗剤拭きとする。

また、結露による水滴・水溜まりが生じた場合は、直ちにこれを解消すること。特に、展示室内ブリッジの結露については、業務担当員の指示に従うこと。

シ 館内のコインロッカー、ベンチ及びトイレの手洗い場について、濃度 0.05% の次亜塩素酸ナトリウムを使用して拭き取りによる消毒を行うこと。

ス 施設、備品等の損傷等、トイレの詰まり、水漏れ等を発見した場合は、業務担当員に報告のうえ指示を受けること。ただし、緊急を要する場合は、事態に対する措置を講じ事後に速やかに報告すること。

(2) 日常巡回清掃

開館日に1日4回以上((1)のシについては午前・午後各1回)随時巡回の上、館内清掃業務仕様書、清掃区分表及び館内清掃実施日程表に基づいて作業を実施すること。

(3) 定期清掃

館内清掃実施日程表に示す委託者の勤務日以外の日(以下「休館日」という。)に、館内清掃業務仕様書、清掃区分表及びガラス清掃区分表に基づいて作業を実施すること。

また、作業員は3名以上配置すること。

ア 床清掃

ビニールタイル等は、電気掃除機、箒、モップ等により埃を取り除き付着している汚れを洗剤により落とし、樹脂ワックスを塗布すること。

また、磁器タイルは、電気掃除機、箒、モップ等により埃を取り除き、水洗いをし、汚れが著しいときは洗剤洗いとすること。

イ 窓・扉等の金属部分は磨き粉等で、損傷のないように磨くこと。

ウ ガラスは、日常清掃と同様の方法で実施すること。

エ カーテンは、ハタキ掛けをし、埃を取り除くこと。特に汚れがひどい場合は、水拭き及び中性洗剤でふき取ること。

オ 壁面・柱面は、中性洗剤で汚れを落とし、水で拭き取ること。

カ ステンレス・アルミサッシは中性洗剤で汚れを落とし、磨き上げること。強度の汚れは、ベンゼン等を使用し、から拭き仕上げとすること。

キ ガラス清掃で、高所の作業は、必ず責任者を配置し、作業の安全の確保を図り、事故等のないよう万全の措置を講じること。

ク 収蔵庫の清掃は、必ず当館学芸職員の指示を受けて行うこと。